



第10回 済生会生活困窮者問題シンポジウム in kitakami

「いわて発・生活困窮者問題を考える」

～ 「きたかみ型地域包括ケアビジョン」と地域共生社会 ～

「第10回済生会 生活困窮者問題シンポジウム」を11月12日(土)、日本現代詩歌文学館にて開催しました。

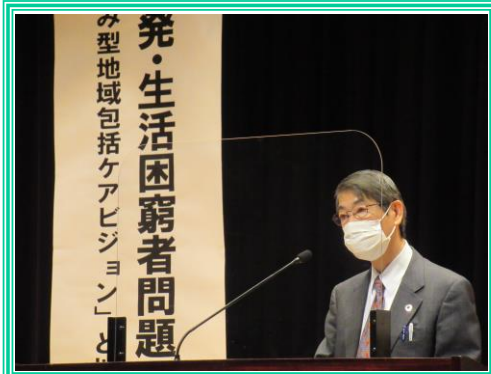
今回のシンポジウムはハイブリット方式にて開催し、Web配信も行いました。

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会 炭谷茂理事長の挨拶、北上市の紹介映像、岩手県済生会伊藤彬支部長の基調講演「地域が元気であるために」の後、シンポジストより下記を発表していただきました。

- * 子どもの貧困連鎖の解消を目指して
- * 暮らしの自立支援センターきたかみの取り組み ～寄り添い支援を目指して～
- * 北上市における地域包括支援センターの取り組み
- * 無料低額診療事業実態調査報告
～医療ソーシャルワーカーが実践するソーシャルインクルージョンについて考える～

その後、これらを踏まえてシンポジストに登壇いただき、『「きたかみ型地域包括ケアビジョン」と地域共生社会』をテーマにディスカッションを行いました。

長年市民に親しまれてきた病院として果たしてきた使命を顧みながら、北上市の変遷と未来の街づくりビジョンについて共有し、社会情勢の変化に伴う様々な問題が複雑・困難化する現代において新たな視点で「生活困窮者とは何か」を考える機会となりました。



防災訓練を実施しました



令和4年11月10日(木)、新病院移転後二度目となる火災想定での防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、昨年実施して気づいた課題点を検証し「新病院に沿った避難階段の呼称名の統一」や、「救護支援班」の新設など、より現実を想定した内容となりました。

1階エントランスに火炎瓶のようなものを数本投げられ放火され
瞬く間に燃え広がるという想定でした



消火器・散水栓での初期消火までは機敏だったけど・・・
初期消火失敗の後、どうすればいい???

初期消火をあきらめ 避難を優先ネ!!

避難状況報告書の情報はみんなで
共有しようね

**消防隊や救護班との連絡調整は
大事だよ!**



避難した患者さんの体温低下を
考慮してマイクロバスへ移動
トリアージカラーのダブル
チェックもしますよ

初の試みです



お問い合わせ先：北上済生会病院 地域医療福祉連携室

電話：0197-65-6120 (直通)

FAX：0197-64-1133 (直通)

